



ペルーの経済情勢（2020年第2四半期）

2020/7/31

1 総論

最新のペルーの月例主要経済指標は、経済成長率▲32.75%（5月：前年同月比）、リマ首都圏のインフレ率1.60%（6月までの一年間）、対米ドル為替相場3.471ソル（6月平均値）、リマ首都圏の完全失業率16.3%（6月）、財政収支2,107百万ソルの赤字（6月）、貿易収支229百万米ドルの赤字（5月）となった。

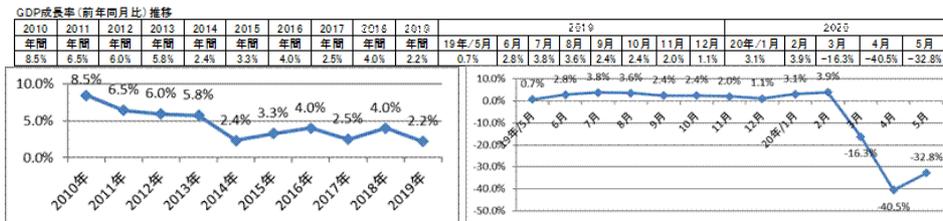
2 各論

(1) 主要経済指標

ペルー中央準備銀行及び国家統計情報庁によると、ペルーの主要経済指標は次のとおり。

ア 経済成長率

最新の経済成長率（GDP成長率）について、5月は特に宿泊・飲食業、建設及び運輸・倉庫・郵便等の成長率が大幅マイナスとなり、全体としてGDP成長率は▲32.75%（前年同月比）となった。

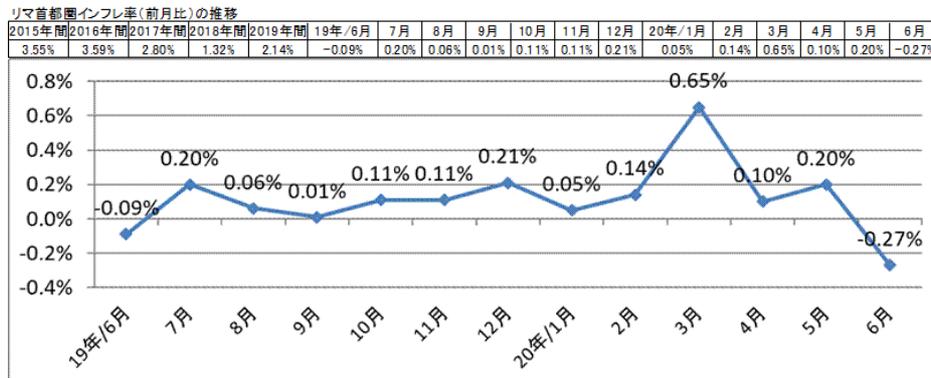


分野別GDP成長率(2020年5月, 前年同月比)

農牧	1.55%	運輸・倉庫・郵便等	-56.40%
漁業	-46.99%	宿泊・飲食業	-90.58%
鉱業・炭化水素	-45.79%	通信・情報	-0.31%
製造	-41.51%	金融・保険	7.98%
電力・ガス・水	-21.68%	企業貸付	-40.84%
建設	-66.43%	行政、国防等	3.54%
商業	-49.56%	その他	-21.05%

イ インフレ率

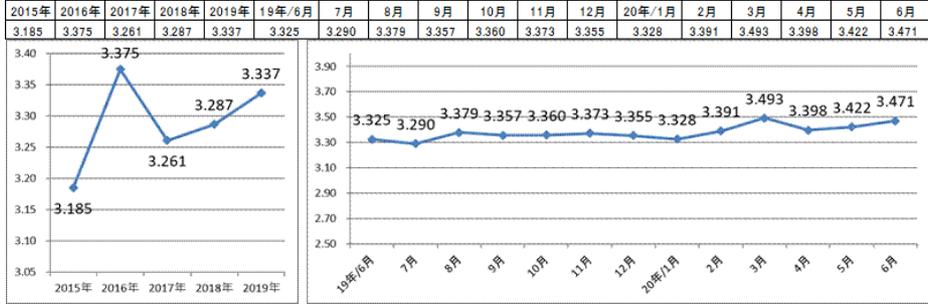
6月のリマ首都圏のインフレ率（消費者物価指数（前月比））は、▲0.27%となり、最近12か月（昨年7月～6月）の上昇率は、1.60%となった。



ウ 為替相場

6月の対米ドル為替相場の平均は3.471ソルであった。

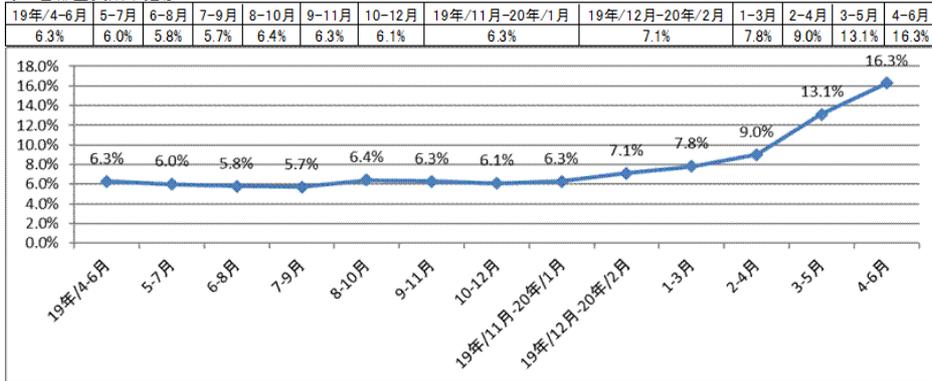
為替の推移(ソル/ドル)(平均)



工 失業率

6月のリマ首都圏の完全失業率は16.3%であった。

リマ首都圏失業率推移



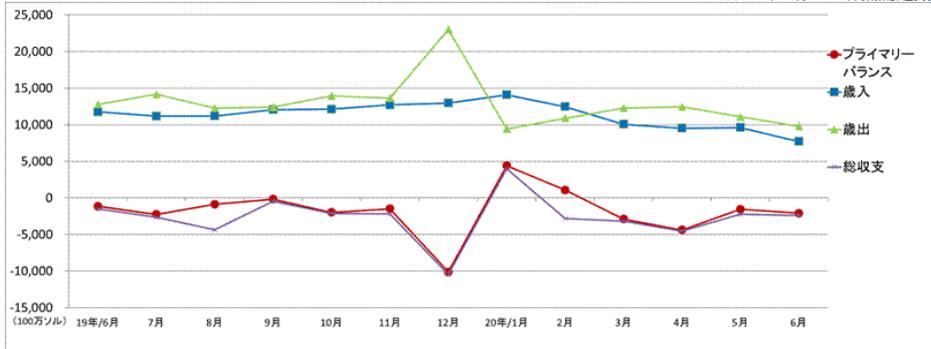
オ 財政収支

6月の政府全体の財政収支は、歳入が対前年同月比で34.6%減となった。歳出は対前年同月比で23.4%減となった。全体では、プライマリーバランスは2,107百万ソルの赤字となった。債務の利払いを含めると2,396百万ソルの赤字となった。

財政収支

2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	19年/6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	20年/1月	2月	3月	4月	5月	6月	対前年同月比	対前年同月比	
歳入	122,951	122,495	129,446	142,427	151,845	11,767	11,155	11,185	12,062	12,121	12,719	12,952	14,054	12,472	10,087	9,213	5,627	7,659	-34.6%	-20.4%
歳出	130,203	131,295	140,512	142,391	154,109	12,782	14,182	12,232	12,355	13,335	15,852	23,008	9,423	10,866	12,322	12,452	11,087	9,795	-23.4%	1.3%
資本的収入	1,245	-422	669	-188	529	-129	743	318	183	-165	-350	-56	-217	-538	-654	-1,451	-65	-11	-	-
プライマリーバランス	-6,508	-9,221	-13,397	-6,922	-1,735	-1,151	-2,261	-675	-1,201	-1,872	-1,425	16,112	4,394	1,596	-2,950	-4,390	-1,543	-2,107	-	-
債務利払い	5,478	7,178	8,335	10,015	10,672	357	243	3,430	255	143	297	545	405	3,637	774	153	592	239	-1,833	6.2%
総収支	-12,525	-16,399	-21,733	-16,922	-12,407	-1,503	-2,610	-4,385	-445	-2,122	-2,185	-16,452	3,987	-2,021	-3,164	-4,843	-2,243	-2,288	-	-

※ 2019年1-6月と2020年同月累計差異。



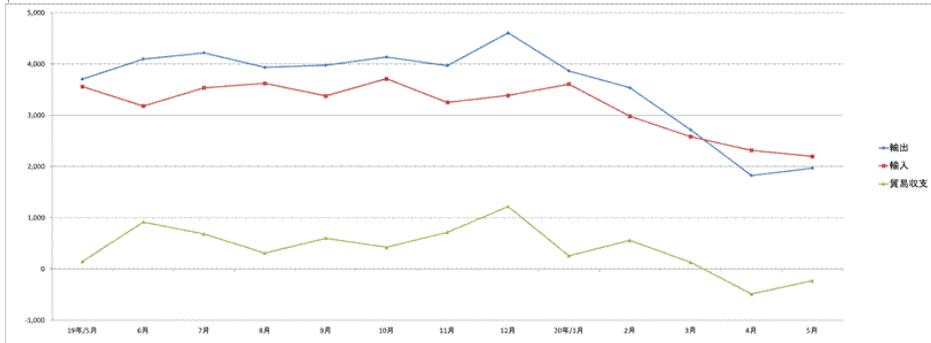
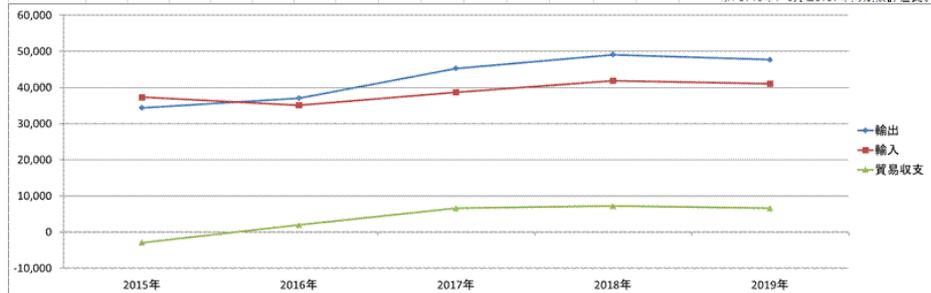
カ 貿易収支

5月の輸出額は、伝統産品（鉱物資源、魚粉、コーヒー等）が対前年同月比52.5%減、非伝統産品（アスパラガスなどの近代的農業産品、繊維製品、工業製品等）が32.9%減となり、全体では1,969百万米ドル（対前年同月比46.9%減）となった。主要輸出品目は銅、金、アボカドであった。

輸入額は、対前年同月比で消費財が31.1%減、中間財は37.1%減、資本財が45.3%減となり、全体で2,197百万米ドル（対前年同月比38.3%減）となった。この結果、貿易収支は229百万米ドルの赤字となった。主要輸入品目はマスク、トウモロコシ、大豆油が主であった。

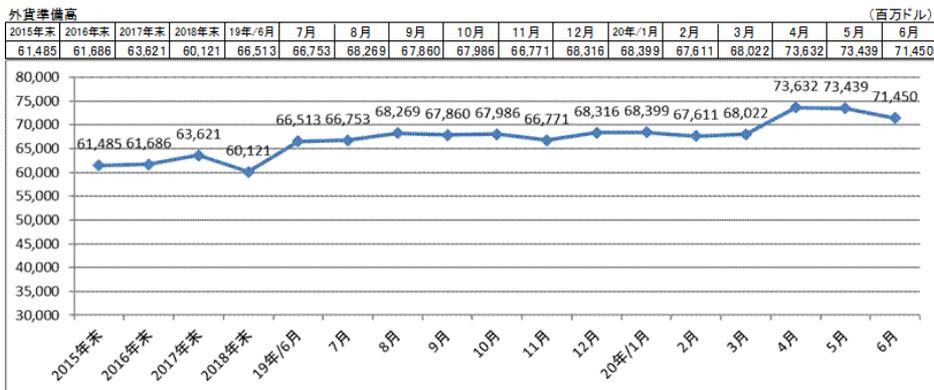
貿易収支	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	19年7月	8月	9月	10月	11月	12月	20年1月	2月	3月	4月	5月	前年同月比	対前年同月比		
輸出	34,414	37,332	45,275	49,339	47,377	4,937	4,219	2,225	3,970	4,136	3,975	4,908	3,865	3,539	2,714	1,827	1,267	-48.9%	-25.8%	
農産品	33,432	36,139	33,444	38,939	33,751	2,832	2,942	3,874	2,820	2,901	2,919	2,739	2,326	2,200	2,900	1,893	1,269	-50.5%	-28.4%	
製造品	1,082	1,193	11,831	11,242	13,783	1,099	1,277	1,601	1,150	1,217	1,256	1,169	1,539	1,339	814	924	87	-22.3%	-19.2%	
輸入	38	101	130	129	154	14	11	3	12	17	10	5	13	12	8	7	-41.3%	-25.7%		
農産品	37,331	38,128	38,104	41,974	41,074	3,840	3,169	3,528	3,223	3,178	3,712	3,232	3,386	3,607	2,682	2,832	2,318	2,197	-38.2%	-19.6%
製造品	3,754	3,606	3,326	3,591	3,576	802	735	527	840	837	887	768	806	807	767	597	491	53.3%	-31.1%	
貿易収支	15,911	15,022	17,909	20,516	19,101	1,462	1,608	1,672	1,522	1,758	1,420	1,513	1,727	1,369	1,236	1,112	1,097	-37.1%	-20.5%	
農産品	12,052	11,232	11,315	11,641	12,295	1,113	955	1,032	1,161	1,009	1,058	1,058	1,060	840	740	706	699	-45.2%	-20.2%	
製造品	6,844	2,677	1,633	1,223	1,027	7	8	9	10	10	6	7	11	13	5	4	7	5	-37.9%	-17.2%
貿易収支	-2,918	1,953	6,571	7,197	6,814	146	918	585	312	601	424	717	1,220	288	555	132	-889	-22.9%	-	

※ 2019年1-6月と2020年同月累計差異。



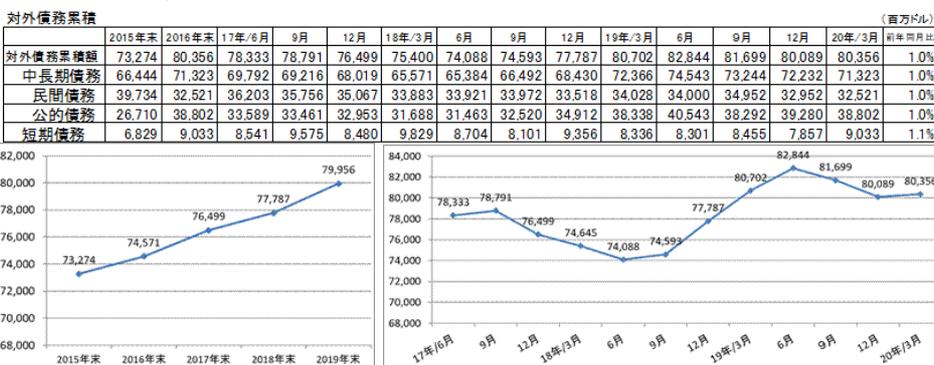
キ 外貨準備高

6月末の外貨準備高は71,450百万米ドルとなった。



ク 対外累積債務

2020年3月末の対外債務累積総額は80,356百万米ドルとなった。



(注) 上記表中の数値は今後修正される可能性あり。

(2) 最近の主な出来事

・ペルー貿易協会報告：COVID-19パンデミックの中、農産物輸出額の見通し堅調（4月17日GESTIÓN紙4面）

新型コロナウイルス流行初期にあたる今年2月の農産物輸出額は4億5,100万米ドル（前年同月比で16.1%増）、食料品の輸出入継続で3月

以降も堅調の見通し。4～5月には柑橘類やアボカド、下半期にはアスパラガス、ブルーベリー、ブドウに期待。3月中旬までのアボカド輸出実績は65%以上の伸長、しかし外出制限期間の進行に伴い伸び率は次第に減少。一方、3月はペルーを含む主要アボカド輸出国の対外輸出減少により単価は向上。ミカンも苦戦。

・ **経財省発表：新型コロナウイルス（COVID-19）対策の地方政府の予算消化率は26%（4月23日GESTIÓN紙2面）**

新型コロナウイルス対策予算総額は33億5,930万ソル。予算消化率（4月21日付）は45.2%で15億1,950万ソル。その内訳は中央政府13億5,658万ソル（予算消化率46.9%）、地方自治体1億1,124万ソル（同41.3%）、地方政府5,167万ソル（同26.3%）。地方政府の消化率が極端に低く首都圏リマを含め20%以下が14州。消化率が高い州はトゥンベス、ピウラ、ラ・リベルタ。

・ **リマメトロ電鉄2号線工事の遅滞、年間工事進捗率はわずか6%（5月8日GESTIÓN紙5面）**

2014年にプロジェクト契約が交わされ、2018年に第2補正契約が実施されている。現在までの工事進捗率は35%、すでに輸入されているトンネル掘削機は未使用のまま。予定ではサンタアニタ市場駅からエビタメント駅までは2021年工事完了、2024年全線開通となっているが、年間工事進捗率はわずか6%に留まっており、このままの状態であれば全線工事完了には10年以上かかる。工事日程も含めて抜本的な構造改革の必要に迫られている。

・ **検察庁発表：新型コロナウイルスパンデミック下で公務員の汚職が横行（5月28日GESTIÓN紙2面）**

COVID-19感染拡大の中、公務員の汚職が増加。検察は国家緊急事態宣言発令以降、全国で506事案を捜査中、1,000人以上の公務員が関与。170の自治体では貧困層向け生活支給品の水増しの疑いもある。保健衛生セクターでは5月20日までに46事案が発覚、多くは病院がらみで、リマ首都圏のCOVID-19指定病院を始め、アレキパ、イキトス、ピウラを含む全国26の医療施設で医療機器や救急車、人工呼吸器、防疫装備などの水増し購入の疑いにより捜査が行われた。

(7)

[🔍 このページのトップへ戻る](#)

[法的事項](#) / [アクセシビリティについて](#) / [プライバシーポリシー](#) / [このサイトについて](#) / [サイトマップ](#)

Copyright(C):2017 Embassy of Japan in Peru